

中期経営計画 進捗状況報告書

【平成 30 年度実績】



仙台市水道局キャラクター
「ウォーターくん」

中期経営計画の
進捗状況・評価について
お知らせします。

仙台市水道局
令和元年 10 月

目 次

進捗状況一覧	1
目指すべき将来像1 強くて安心な水道	4
■ 実現方策(1) 災害に強い施設・システムの整備	4
■ 実現方策(2) 災害対応力の強化	12
■ 実現方策(3) 水質管理の徹底	18
目指すべき将来像2 エコで持続可能な水道	23
■ 実現方策(1) 環境に配慮した事業の推進	23
■ 実現方策(2) お客さま本位の事業の推進	28
■ 実現方策(3) 経営マネジメントの推進	35

◆評価について

各事業及び中期経営目標の「評価」は、中期経営計画に定める目標と、計画期間（平成 27～31 年度）における実績とを比較し、次の 4 段階で表示しています。

- ①「極めて良好」、②「概ね良好」、③「やや遅れている」、④「未実施」

進捗状況一覧

中期経営計画(平成27～31年度)における「個別事業」及び「中期経営目標」の進捗状況がまとまりました。その結果、「個別事業」2事業と「中期経営目標」4指標が「極めて良好」、「個別事業」42事業と「中期経営目標」18指標が「概ね良好」となり、順調に進捗しております。「個別事業」及び「中期経営目標」の進捗状況の内訳は以下のとおりです。

◆個別事業 進捗状況

評価区分	事業数	
極めて良好	2 事業	4.5%
概ね良好	42 事業	95.5%
やや遅れている	0 事業	0.0%
未実施	0 事業	0.0%
合計	44 事業	100.0%

◆中期経営目標 進捗状況

評価区分	指標数	
極めて良好	4 指標	18.2%
概ね良好	18 指標	81.8%
やや遅れている	0 指標	0.0%
未実施	0 指標	0.0%
合計	22 指標	100.0%

◆個別事業・中期経営目標ごとの進捗状況一覧

目指すべき将来像	実現方策	事業番号	事業名称または指標	達成見込み評価	ページ	
1 強く 安心な 水道	(1) 災害に強い施設・システムの整備	1	基幹管路の更新・耐震化推進	概ね良好	4	
		2	配水支管の更新・耐震化推進	概ね良好	5	
		3	災害拠点病院などへの管路の耐震化推進	概ね良好	5	
		4	浄水・配水施設の更新・耐震化推進	概ね良好	6	
		5	浄水・送水・配水施設の設備更新・改良	概ね良好	6	
		6	管路附属設備の機能強化	概ね良好	7	
		7	広域水道単独配水区域の解消	概ね良好	7	
		8	配水ブロックの再編	概ね良好	8	
		9	鉛製給水管の解消	概ね良好	8	
		10	漏水防止対策の推進	概ね良好	9	
	中期経営目標			耐震性を有する管路の割合 (耐震性を有する管路延長/管路総延長) × 100	極めて良好	9
				災害拠点病院などへの管路の耐震化箇所数	概ね良好	10
				配水池耐震施設率 【水道事業ガイドラインB604】(耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) × 100	概ね良好	10
				公道内埋設の鉛製給水管残存率 (公道内埋設の鉛製給水管残存件数/給水管件数) × 100	概ね良好	10
				有効率 【水道事業ガイドラインB111】(有効水量/年間総配水量) × 100	概ね良好	11
	(2) 災害対応力の強化	1	危機管理体制の強化	概ね良好	12	
		2	災害時給水施設の設置拡大	概ね良好	12	
		3	水道施設の長期停電対策の充実	概ね良好	13	
		4	給水車用注水補給設備の整備	概ね良好	13	
		5	災害時における情報発信の充実	概ね良好	14	
		6	地域との連携強化	概ね良好	14	
		7	他都市・団体との連携強化	概ね良好	15	
8		東日本大震災の教訓の継承	概ね良好	15		
中期経営目標				災害時給水施設の整備箇所数	概ね良好	16
				主要浄水場における長期停電対策実施率 (主要4浄水場における非常用自家発電装置の燃料タンク増強完了数/4) × 100	概ね良好	16
			給水車用注水補給設備の整備箇所数	概ね良好	16	
			地域・他都市などとの防災訓練実施回数	極めて良好	17	
(3) 水質管理の徹底	1	土地利用に関する諸制度の活用	概ね良好	18		
	2	青下ダム流域の水源涵養林の保育管理	概ね良好	18		
	3	高度浄水処理施設の導入	概ね良好	19		
	4	水質管理の充実・強化	概ね良好	20		
	5	水安全計画の推進	概ね良好	21		
	中期経営目標			主要浄水場における高度浄水処理施設導入率 (主要4浄水場における粉末活性炭注入設備設置完了数/4) × 100	概ね良好	21
				かび臭からみたおいしい水達成率(2-MIB対象) [1-(2-MIB最大濃度-局水質目標値)/水質基準値] × 100 ※局水質目標値は2ng/L以下。	概ね良好	21
		総トリハロメタン濃度からみた安全で良質な水達成率 (毎月検査箇所における局水質目標値達成数/年間検査総数) × 100 ※局水質目標値は0.04mg/L以下。	概ね良好	22		

目指すべき将来像	実現方策	事業番号	事業名称または指標	達成見込み評価	ページ
2 エコで持続可能な水道	(1) 環境に配慮した事業の推進	1	再生可能エネルギーの活用推進	極めて良好	23
		2	省エネルギー型機器への切替推進	極めて良好	24
		3	庁舎改修における低炭素化の推進	概ね良好	24
		4	直結給水方式の普及促進	概ね良好	25
		5	次世代自動車等の導入拡大	概ね良好	25
		6	浄水発生土の有効活用	概ね良好	25
		7	建設副産物のリサイクル	概ね良好	26
		中期経営目標	再生可能エネルギー発電量	極めて良好	26
			配水量1m ³ 当たり電力消費量 【水道事業ガイドラインB301】電力使用量の合計/年間配水量	極めて良好	27
			次世代自動車等の導入台数	概ね良好	27
			浄水発生土の有効利用率 【水道事業ガイドラインB305】(有効利用土量/浄水発生土量)×100	概ね良好	27
	(2) お客さま本位の事業の推進	1	水道料金に関するサービスの拡充	概ね良好	28
		2	窓口・電話対応に関するサービスの充実	概ね良好	29
		3	水道事業に関する情報提供の充実	概ね良好	30
		4	水道記念館・青下水源地の魅力向上と活用促進	概ね良好	31
		5	体験・交流型広報の充実	概ね良好	32
		6	お客さまの声の施策への反映	概ね良好	32
		7	お客さまとの協働による事業運営の推進	概ね良好	33
		中期経営目標	コールセンター応答率 (オペレーターが電話を取り対応した数/コールセンターへの入電数)×100	概ね良好	33
			水道記念館の年間来館者数	概ね良好	34
			各種イベント参加者の満足度 (各種イベント等のアンケートで「満足」と回答した方の数/アンケート回答数)×100	概ね良好	34
	(3) 経営マネジメントの推進	1	アセットマネジメントの取り組みの強化	概ね良好	35
		2	水道施設の将来構想の推進	概ね良好	36
		3	水道施設の維持管理の効率化	概ね良好	36
		4	資産の有効活用・処分	概ね良好	37
		5	人材育成・技術継承の推進	概ね良好	37
		6	近隣水道事業者との連携強化	概ね良好	38
		7	国際貢献の推進	概ね良好	38
		中期経営目標	有収率 【水道事業ガイドラインB112】(年間有収水量/年間配水量)×100	概ね良好	39
			給水収益に対する企業債残高 企業債残高/給水収益	概ね良好	39
			経常収支比率 【水道事業ガイドラインC102】[(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)]×100	概ね良好	39

目指すべき将来像1 強くて安心な水道

実現方策（1） 災害に強い施設・システムの整備

老朽化が進みつつある管路・施設の計画的な更新や震災被害の検証を踏まえた耐震化、異なる水系間での水道水の相互融通機能の強化などにより、防災機能を高めた強靱な水道づくりを進めていきます。

〈個別事業の状況〉

事業名	基幹管路の更新・耐震化推進					
事業内容	災害や水道施設の事故などの際にも水道水の供給が可能となるよう、基幹管路の新設や耐震性に優れた管種への更新を推進し、配水経路の多系統化や水道水の相互融通機能の充実を図ります。					
令和元年度末目標	平成27～令和元年度累計で基幹管路を約6km更新し、約10km新設します。					
平成30年度実績	基幹管路を約0.1km更新し、約2.3km新設しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	基幹管路の更新	0km	約1.1km	約0.9km	約0.1km	
		(累積延長) 0km	(累積延長) 約1.1km	(累積延長) 約2.0km	(累積延長) 約2.1km	
	基幹管路の新設	約2.3km	約1.0km	約1.5km	約2.3km	
		(累積延長) 約2.3km	(累積延長) 約3.3km	(累積延長) 約4.8km	(累積延長) 約7.1km	
達成見込み評価	概ね良好		平成30年度の更新は計画を下回りましたが、新設は計画を上回る実施ができました。全体の施設整備計画を精査したところ、一部計画路線において整備年度や整備内容についての見直しが必要となりましたが、引き続き基幹管路の更新・耐震化の取り組みを継続していきます。			

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

事業名	配水支管の更新・耐震化推進					
事業内容	配水本管とお客さまの給水装置を繋ぐ配水支管のうち、老朽化が進んでいるものや耐震性に劣るものを耐震性に優れた管種へと更新し、漏水事故を未然に防ぐとともに、地震に強い配水支管網の形成を図ります。また、管路の更新需要が今後増加していくことを見据え、更新延長を段階的に引き上げていきます。					
令和元年度末目標	平成27～令和元年度累計で配水支管を約112km更新し、約29km新設します。					
平成30年度実績	配水支管を約27.3km更新し、約6.2km新設しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	配水支管の更新	約17.4km	約27.8km	約23.5km	約27.3km	
		(累積延長) 約17.4km	(累積延長) 約45.2km	(累積延長) 約68.7km	(累積延長) 約96.0km	
	配水支管の新設	約8.0km	約7.4km	約6.4km	約6.2km	
		(累積延長) 約8.0km	(累積延長) 約15.4km	(累積延長) 約21.8km	(累積延長) 約28.0km	
達成見込み評価	概ね良好	平成30年度は概ね計画通りの実績となりました。今後も計画通り取り組みを継続していきます。				

事業名	災害拠点病院などへの管路の耐震化推進					
事業内容	大規模地震の発生時に災害医療の拠点となる災害拠点病院など重要施設への配水経路を確保するため、これらの施設への管路の耐震化を優先的に進めていきます。本計画では、対象施設を救急告示医療機関・透析医療機関にも拡大し、順次耐震化を実施していきます。					
令和元年度末目標	耐震化完了箇所数を30箇所以上にします。					
平成30年度実績	6病院の耐震化工事を完了し、完了箇所数が29となりました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	災害拠点病院などへの管路の耐震化	2 箇所	1 箇所	1 箇所	6 箇所	
		(累積箇所数) 21 箇所	22 箇所	23 箇所	29 箇所	
達成見込み評価	概ね良好	平成30年度は6病院の耐震化工事を完了し、概ね順調に進捗しております。令和元年度末の目標は達成できる見込みです。				

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

事業名	浄水・配水施設の更新・耐震化推進					
事業内容	<p>浄水施設については、震災時の被害を踏まえて新たに実施した耐震診断の結果に基づき、主力浄水場である茂庭浄水場の配水池や排水処理施設などの耐震化工事を順次実施していきます。</p> <p>また、配水施設については、市内中心部への配水を担うなど水運用上重要な位置づけにあり、老朽化が進んでいる荒巻配水所（容量 14,300m³）の更新を行うとともに、その他の配水施設についても、優先度の高いものから順次耐震化を実施していきます。</p>					
令和元年度末目標	配水池耐震施設率を50%にします。					
平成30年度実績	茂庭浄水場4・9号池の耐震化工事が完了し、配水池耐震施設率が45.2%となりました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	茂庭浄水場 配水池（耐震化）	1・2号池完了 5・6号池着手	5・6号池完了 3・7号池着手	3・7号池完了 4・9号池着手	4・9号池完了 8・10号池着手	
	排水処理施設（耐震化）	/			No.2濃縮槽着手	
	荒巻配水所（更新）	更新工事着手	2号池本体築造	2号池本体完成 1号池本体築造	1号池本体築造	
	その他の配水施設	赤坂配水所耐震化着手	・赤坂配水所耐震化完了 ・寺岡、大沢配水所耐震化着手	・寺岡、大沢配水所耐震化完了 ・南中山、茂庭第一配水所耐震化着手	・南中山、茂庭第一配水所耐震化完了 ・住吉台、茂庭第二、上原配水所耐震化着手	
	配水池耐震施設率	23.4%	28.8%	36.4%	45.2%	
達成見込み評価	概ね良好	茂庭浄水場配水池の耐震化工事などが概ね順調に進捗しており、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。				

事業名	浄水・送水・配水施設の設備更新・改良					
事業内容	今後も安定的かつ効率的な運転を維持していくため、浄水・送水・配水の各施設における老朽化した設備の更新・改良を計画的に実施していきます。					
令和元年度末目標	計画的な更新・改良を継続していきます。					
平成30年度実績	茂庭浄水場東ろ過池流量制御盤更新工事に着手し、ポンプ場配水所等のテレメータ設備の更新を行いました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	浄水施設	福岡浄水場次亜塩素酸注入設備更新工事着手	・福岡浄水場次亜塩素酸注入設備更新工事完了 ・茂庭浄水場ろ過池表洗管更新工事着手	・茂庭浄水場ろ過池表洗管更新工事完了 ・茂庭浄水場西ろ過池屋上防水及び外壁改修工事完了	・国見浄水場電気設備更新工事着手 ・茂庭浄水場東ろ過池流量制御盤更新工事着手	
	送・配水施設	・赤坂配水所改良工事着手 ・ポンプ場配水所テレメータ設備更新工事他	・赤坂配水所改良工事完了 ・ポンプ場配水所テレメータ設備更新工事他	・鉤取山配水所2号配水池外面改良工事完了 ・ポンプ場配水所テレメータ設備更新工事他	・将監送水ポンプ場受変電設備更新工事着手 ・ポンプ場配水所テレメータ設備更新工事完了	
達成見込み評価	概ね良好	整備内容の精査に伴い計画の見直しを行いました。設備の更新・改良は概ね順調に進んでおり、今後も取り組みを継続していきます。				

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

事業名	管路付属設備の機能強化					
事業内容	大規模地震の発生時における管路の被害を減少させるため、震災における被害を踏まえて伸縮管の現状調査や補強・修繕を行うとともに、空気弁や仕切弁、圧力調整弁といった管路の付属設備についても、耐震化を含め、一層の機能強化を図ります。					
令和元年度末目標	管路付属設備の耐震性を向上させます。					
平成30年度実績	埋設型伸縮管21箇所と1箇所の補強を実施したほか、圧力調整弁22基の改造や双口空気弁3基を急速空気弁に交換するなど管路付属設備の機能強化を実施しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	埋設型伸縮管	現状調査 29箇所	現状調査 20箇所	現状調査 16箇所	現状調査 21箇所	
		補強・修繕 4箇所	補強・修繕 2箇所	補強・修繕 2箇所	補強・修繕 1箇所	
	その他 管路付属設備	圧力調整弁改造 22基 双口空気弁交換 39基	圧力調整弁改造 21基 双口空気弁交換 38基	圧力調整弁改造 17基 双口空気弁交換 9基	圧力調整弁改造 22基 双口空気弁交換 3基	
達成見込み評価	概ね良好	現状調査により対応が必要と判明した埋設型伸縮管についてはその都度補強を行うなど、概ね計画通り機能強化を実施しました。今後も計画通り取り組みを継続していきます。				

事業名	広域水道単独配水区域の解消					
事業内容	宮城県の仙南・仙塩広域水道からの受水のみで配水している区域（秋保・坪沼、錦ヶ丘地区）に対し、本市浄水場からの送水を可能とする施設を整備することで供給源の二系統化を行い、災害時などにおける断水等のリスクの軽減を目指します。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> 秋保・坪沼地区の二系統化整備を完了させます。 錦ヶ丘地区の整備計画を策定します。 					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 秋保・坪沼地区の整備では、約1.9kmの整備を完了しました。 錦ヶ丘地区については整備計画（令和6年度整備完了）を策定し、関係機関と実施に向けて協議を進めています。 					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	秋保・坪沼地区	送水管整備工事着手（整備延長約1.5km）	送水管整備工事（整備延長約0.7km）	送水管整備工事（整備延長約1.2km）	送水管整備工事（整備延長約1.9km）	
		（累積延長） 約1.5km	（累積延長） 約2.2km	（累積延長） 約3.4km	（累積延長） 約5.3km	
	錦ヶ丘地区		一部先行着手	整備計画策定	関係機関と実施に向けての協議	
達成見込み評価	概ね良好	概ね順調に進捗しておりますが、秋保・坪沼地区の整備において、最終工区の令和元年度事業区間約1.3kmを2カ年に分割実施する計画に変更したため、整備完了は令和2年度となる予定です。				

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

事業名	配水ブロックの再編					
事業内容	給水区域を一定規模に分割した配水ブロックについて、適正な水圧の確保と配水量の管理充実、災害時の断水や濁り水の影響範囲の縮小化などを図るため、ブロック間の水圧・配水量を均等化する再編作業（ブロックの分割・統合）を進めていきます。					
令和元年度末目標	中田・八幡などの配水ブロック再編を完了させます。					
平成30年度実績	大型ブロックを再編するための関連事業を進めるとともに、泉中央ブロックの再編を一部完了しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	大型ブロックの再編 ※《 》内は関連事業	中田	《配水幹線の整備》	《ブロック計量設備・管路の整備》	完了	
		八幡	《荒巻配水所の更新》			
		泉中央	《管路の整備》			《管路の整備》 泉中央東部ブロック(一部完了)
	その他のブロック再編	加茂配水ブロック(完了)	土手内・太白配水ブロック(完了)	芋沢ブロック(完了)	なし	
達成見込み評価	概ね良好	平成30年度予定のその他のブロック再編は関連工事に一部遅れが生じ令和元年度に先送りしましたが、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。				

事業名	鉛製給水管の解消					
事業内容	公道内に埋設されている鉛製給水管について、漏水防止や適正な水質管理の観点から、漏水修繕・配水管工事などに伴う更新や計画的な更新工事による解消を進めていきます。					
令和元年度末目標	公道内埋設の鉛製給水管を解消します。					
平成30年度実績	平成30年度は907件を解消しました。公道内埋設の鉛製給水管については、工事困難箇所を除き概ね解消したことから残存率は0%となりました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	鉛製給水管の解消件数	2,344件	2,118件	1,609件	907件	
	公道内埋設の鉛製給水管残存率	2.3%	1.0%	0.4%	0%	
達成見込み評価	概ね良好	公道内の鉛製給水管については、工事困難箇所を除き目標どおり平成30年度末で概ね解消しました。				

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

事業名	漏水防止対策の推進					
事業内容	水資源の有効利用と有効率の向上を図るため、漏水の発生を未然に防止する予防的対策（配水支管の更新、鉛製給水管の解消など）や、年間約2,000kmに及ぶ計画的な漏水調査による地下漏水の早期発見・修繕に取り組み、効果的な漏水防止対策を推進していきます。					
令和元年度末目標	漏水率2.8%を目指します。					
平成30年度実績	配水支管の更新27.3km（再掲）、鉛製給水管の解消907件（再掲）、地下漏水発見修繕270件などの取り組みの結果、漏水率3.2%となりました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	配水支管の更新・鉛製給水管の解消など	・配水支管更新17.4km ・鉛製給水管の解消2,344件	・配水支管更新27.8km ・鉛製給水管の解消2,118件	・配水支管更新23.5km ・鉛製給水管の解消1,609件	・配水支管更新27.3km ・鉛製給水管の解消907件	
	地下漏水の早期発見・修繕	507件	247件	192件	270件	
	漏水率	3.3%	2.8%	3.0%	3.2%	
達成見込み評価	概ね良好	前年度よりも漏水率が0.2%上昇しました。要因としては、前年度と比較し発見件数は増加しているものの、1件当りの漏水量が多く、その影響により、漏水率上昇につながりました。今後も、計画的な漏水防止に取り組み、漏水量減少に努めてまいります。				

〈中期経営目標の状況〉

(速報値)	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
概要	耐震性を有する管路の割合 (耐震性を有する管路延長/管路総延長) × 100	↑	86.5%	87%												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">耐震性を有する管路の割合 (%)</p> <table border="1"> <caption>耐震性を有する管路の割合 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>86.6%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>86.8%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>87.2%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>87.6%</td> </tr> <tr> <td>R1 (目標)</td> <td>87.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	割合 (%)	H27	86.6%	H28	86.8%	H29	87.2%	H30	87.6%	R1 (目標)	87.0%
	年度	割合 (%)														
H27	86.6%															
H28	86.8%															
H29	87.2%															
H30	87.6%															
R1 (目標)	87.0%															
見込み評価	極めて良好	管路の更新・耐震化事業については平成29年度に目標を達成しております。今後も計画的な事業の取り組みを継続していきます。														

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	災害拠点病院などへの管路の耐震化箇所数		↑	19箇所	30箇所以上											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">災害拠点病院などへの管路の耐震化箇所数（箇所）</p> <table border="1"> <caption>災害拠点病院などへの管路の耐震化箇所数（箇所）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30 (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	箇所数	H27	21	H28	22	H29	23	H30	29	R1	30 (目標)
	年度	箇所数														
H27	21															
H28	22															
H29	23															
H30	29															
R1	30 (目標)															
見込み評価	概ね良好	平成30年度は6病院の耐震化工事を完了し、概ね順調に進捗しており、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。														


概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	配水池耐震施設率	<small>【水道事業ガイドラインB604】 (耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量) × 100 ※水道事業ガイドライン改訂により、非常用飲料水貯水槽の容量を除いて算出しています。</small>	↑	15.5%	50%											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">配水池耐震施設率（％）</p> <table border="1"> <caption>配水池耐震施設率（％）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>施設率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>23.4%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>36.4%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>45.2%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>50% (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	施設率	H27	23.4%	H28	28.8%	H29	36.4%	H30	45.2%	R1	50% (目標)
	年度	施設率														
H27	23.4%															
H28	28.8%															
H29	36.4%															
H30	45.2%															
R1	50% (目標)															
見込み評価	概ね良好	茂庭浄水場配水池の耐震化工事などが概ね順調に進捗しており、令和元年度目標を達成できる見込みです。														

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	公道内埋設の鉛製給水管残存率	<small>(公道内埋設の鉛製給水管残存件数/給水件数) × 100</small>	↓	2.9%	0%											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">公道内埋設の鉛製給水管残存率（％）</p> <table border="1"> <caption>公道内埋設の鉛製給水管残存率（％）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>残存率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>0% (目標)</td> </tr> </tbody> </table>				年度	残存率	H27	2.3%	H28	1.0%	H29	0.4%	H30	0.0%	R1	0% (目標)
	年度	残存率														
H27	2.3%															
H28	1.0%															
H29	0.4%															
H30	0.0%															
R1	0% (目標)															
見込み評価	概ね良好	公道内の鉛製給水管については、工事困難箇所を除き目標どおり、平成30年度末で概ね解消しました。														

実現方策（1）災害に強い施設・システムの整備

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標
	有効率 【水道事業ガイドラインB111】 （有効水量/年間総配水量）×100	↑	96.5%	97%
達成状況 ・見込み評価	有効率（％） 			
	見込み評価	概ね良好	平成30年度の有効率は96.6%となりました。前年度よりも減少した要因としては、漏水量等の増加によるものです。令和元年度以降も有効率向上を図るため、効果的な漏水防止対策を実施し、計画的な取り組みを継続していきます。	

〈実現方策の取組状況〉



個別事業・中期経営目標ともに、計画通りの成果が得られています。今後も引き続き各事業の着実な進捗を図り、災害に強い施設・システムの整備を進めていきます。

実現方策（２）災害対応力の強化

大規模災害などの発生時に迅速な応急給水や復旧活動が実施できるよう、体制や設備を強化するとともに、災害時給水施設の設置拡大、地域の皆様や他都市との連携強化など、ハード・ソフト両面において災害対応力を強

〈個別事業の状況〉

事業名	危機管理体制の強化					
事業内容	大規模災害などの発生時にも迅速な対応が可能となるよう、震災の経験を踏まえた実践的な災害対応訓練の実施、危機管理マニュアルや業務継続計画（BCP）の随時見直し、保有する応急給水資機材の充実など、多面的な整備を進め、水道局内の危機管理体制の強化を図ります。					
令和元年度末目標	災害発生時に迅速・的確に対応できる体制を構築します。					
平成30年度実績	危機管理マニュアルの改訂や寒波対応マニュアル及びテロ対策マニュアルの策定、災害対応訓練の実施などを通して、危機管理体制を強化しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	災害対応訓練や災害時給水栓の操作説明会などの実施	・災害対応訓練の実施 ・災害時給水栓操作説明会の実施	・災害対応訓練の実施 ・災害時給水栓操作説明会の実施	・災害対応訓練の実施 ・災害時給水栓操作説明会の実施	・災害対応訓練の実施 ・災害時給水栓操作説明会の実施	
	危機管理マニュアル・業務継続計画（BCP）の随時見直し	・水道局防災実施計画の策定 ・業務継続計画の見直し	・危機管理マニュアルの改訂 ・防災実施計画の見直し ・蔵王山噴火対応マニュアルの策定	・危機管理マニュアルの改訂 ・防災実施計画、業務継続計画の見直し ・濁水対応マニュアルの策定	・危機管理マニュアルの改訂 ・防災実施計画、業務継続計画の見直し ・寒波対応マニュアルの策定 ・テロ対策マニュアルの策定	
	応急給水袋や応急給水用ホースなどの整備	・応急給水袋の購入(3,400袋) ・応急給水用ホースの購入(70本)	・応急給水袋の購入(10,000袋) ・応急給水用ホースの購入(90本)	・応急給水用ホースの購入(160本)	・組立式仮設水槽内袋購入(15枚)	
達成見込み評価	概ね良好	危機管理マニュアルの改訂や応急給水資機材の整備等を進めることで、災害発生時に迅速・的確に対応可能な体制を構築できる見込みです。				

事業名	災害時給水施設の設置拡大					
事業内容	大規模災害などにより断水が発生した場合に、効果的な応急給水が実施できるよう、指定避難所である市立小学校に加え、新たに中学校にも災害時給水栓を設置するなど、災害時給水施設の設置拡大を進めていきます。					
令和元年度末目標	災害時給水施設の設置箇所を180箇所以上にします。					
平成30年度実績	災害時給水栓を小学校5校、中学校4校に設置しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	小学校への設置	26 箇所	14 箇所	25 箇所 (高校1箇所含む)	5 箇所	
	中学校への設置				4 箇所	
	累積箇所数	120 箇所	134 箇所	159 箇所	168 箇所	
達成見込み評価	概ね良好	平成30年度の工事は、学校との調整等の影響で一部を令和元年度に繰越しましたが、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。				

実現方策（2）災害対応力の強化

事業名	水道施設の長期停電対策の充実					
事業内容	大規模災害などによる長期停電に備え、浄水場や主要な配水所・ポンプ場における非常用自家発電装置の燃料タンク増設などの対策を進めていきます。					
令和元年度末目標	燃料タンクの増設・更新などによる長期停電対策の充実を目指します。					
平成30年度実績	長期停電対策に係る施設整備を実施しました。また、燃料補給用タンクローリー車による補給訓練などを実施しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	燃料タンク増設・増量	・国見浄水場工事着手 ・茂庭浄水場整備中	・国見、茂庭浄水場工事完了 ・安養寺、五ッ森配水所工事完了	・綱木坂送水ポンプ場工事着手	《完了》 綱木坂送水ポンプ場 《着手》 将監ポンプ場 鉤取山送水ポンプ所 鉤取山配水所	
	自家発電装置更新・新設	・南中山配水所工事完了 ・福岡取水場工事完了	・福岡浄水場、荒巻配水所工事着手	・福岡浄水場工事完了 ・荒巻配水所工事完了	《完了》 将監第一配水所	
	その他	燃料補給用タンクローリー車導入	燃料補給用タンクローリー車による補給訓練	燃料補給用タンクローリー車による補給訓練	燃料補給用タンクローリー車による補給訓練	
達成見込み評価	概ね良好	現場状況の影響などにより一部の工事で遅れが生じましたが、今後も着実に長期停電対策の充実を図ることで目標を達成する見込みです。				

事業名	給水車用注水補給設備の整備					
事業内容	大規模災害などにより断水が発生した場合に、給水車による応急給水活動を効率的に実施できるよう、給水車への注水補給を行うための設備を主要浄水場や水道局本庁舎に整備していきます。					
令和元年度末目標	5箇所への整備を完了させます。					
平成30年度実績	水道局本庁舎への設置が完了し、卸町庁舎及び荒巻配水所へ設置するための工事を進めました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	給水車用注水補給設備の整備	注水補給設備設置に係る調整	水道局本庁舎への設置工事着手	水道局本庁舎への設置工事着手	《完了》 水道局本庁舎 《着手》 卸町庁舎 荒巻配水所	
	(整備完了累計数)	3箇所	3箇所	3箇所	4箇所	
達成見込み評価	概ね良好	水道局本庁舎への設置が完了し、順調に進捗しております。令和元年度末の目標は達成できる見込みです。				

実現方策（2）災害対応力の強化

事業名	災害時における情報発信の充実					
事業内容	大規模災害などの発生時において、水道の被害状況や復旧予定、応急給水の実施場所など、お客さまが必要とする情報を迅速かつ効果的に発信していくため、情報発信体制の整備を進めていきます。					
令和元年度末目標	災害時情報発信体制を確立します。					
平成30年度実績	平成28年度に作成した災害時広報マニュアルについて、更新を行い、広報担当部署の職員間で共有を行いました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	災害対応訓練などを通じた情報発信の内容・方法の検証	市長部局の情報発信手段（危機管理室Twitter等）への情報掲載手順の確立	情報の収集から発信までをカバーした災害時広報マニュアルを作成	災害時広報マニュアルの内容の見直し・更新	災害時広報マニュアルの更新及び同マニュアルに基づく発信実績の蓄積	
	災害時の広報用資料やホームページ掲載内容の充実・強化	災害時の時系列ごとの広報用テンプレートの整理着手	テンプレートを整理し災害時広報マニュアルに掲載	災害時広報マニュアルの内容の見直し・更新	災害時広報マニュアルの更新及びHPサーバー管理者との連絡体制強化	
達成見込み評価	概ね良好	当該事業を継続的に推進することで、スムーズな情報発信手順の整理と通信手段の多様化を図り、災害時の情報発信体制を確立できる見込みです。				

事業名	地域との連携強化					
事業内容	町内会が実施する防災訓練などにおいて、水の備蓄方法や水道局が取り組んでいる災害対策について説明するとともに、応急給水訓練や災害時給水栓の操作説明会を開催するなど、地域との協働・連携による災害対応の取り組みを強化していきます。					
令和元年度末目標	地域との協働・連携による効果的な応急給水体制を構築します。					
平成30年度実績	町内会が実施する防災訓練への参加と災害時給水栓の説明会を実施しました。併せて水の備蓄啓発・災害対策の説明を行いました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	防災訓練における水の備蓄啓発・災害対策の説明	備蓄の啓発、災害対策の説明	備蓄の啓発、災害対策の説明	備蓄の啓発、災害対策の説明	備蓄の啓発、災害対策の説明	
	給水車・災害時給水施設を使用した応急給水訓練の実施	訓練の実施（12回）	訓練の実施（16回）	訓練の実施（9回）	訓練の実施（11回）	
	災害時給水栓の操作説明会の開催	説明会の実施（27回）	説明会の実施（29回）	説明会の実施（28回）	説明会の実施（22回）	
達成見込み評価	概ね良好	今後も同様の取組みを推進することで、効果的な応急給水体制を構築できる見込みです。				

実現方策（２）災害対応力の強化

事業名	他都市・団体との連携強化					
事業内容	他都市や応援協定を締結している公益財団法人仙台市水道サービス公社、検針受託業者などの団体との合同訓練を実施し、災害対応における更なる連携強化を図っていくとともに、他都市との技術交流についても積極的に進めていきます。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> ・合同訓練・技術交流により災害対応力を向上させます。 ・実効性のある相互応援体制を構築します。 					
平成30年度実績	<p>合同訓練については、首都直下地震の発生を想定した『首都直下地震対処大都市水道合同防災訓練』や日水協で主催した『全国地震等緊急時訓練』・『東北地方支部（南東北）訓練』に参加。また、検針受託業者と、給水車への給水作業や仮設水槽の組み立てを行う訓練を実施しました。</p> <p>技術交流や連携強化については、札幌市水道局と『札幌市・仙台市災害時相互応援強化に係る人事交流に関する協定書』を締結。また、東京都で開催された大都市水道局大規模災害対策検討会へ参加しました。</p>					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	他都市・団体との合同訓練の実施	新潟市水道局、札幌市水道局、日本水道協会東北地方支部、仙台市水道サービス公社、検針業務受託業者と訓練実施	東京都水道局、日本水道協会東北地方支部、仙台市水道サービス公社、検針業務受託業者と訓練実施	札幌市水道局、東京都水道局、新潟市水道局、堺市上下水道局、日本水道協会東北地方支部、仙台市水道サービス公社、検針業務受託業者と訓練実施	大都市水道局合同防災訓練、日水協全国地震等緊急時訓練、日水協東北地方支部（南東北）訓練、検針受託業者・仙台市水道サービス公社との訓練を実施	
事業実績	他都市・団体との技術交流の推進、連携強化	東京都水道局の修繕現場視察、情報交換会の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市水道局と情報交換会を実施 ・東京都水道局と覚書を締結 ・堺市上下水道局と覚書を締結 	全環衛生事業協同組合、仙台市水道サービス公社、全国上下水道コンサルタント協会東北支部と協定を締結	<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市と人事交流に関する協定を締結 ・新潟市水道局と情報交換会を実施 ・大都市水道局大規模災害対策検討会への参加 	
	達成見込み評価	概ね良好	平成30年度は、首都直下地震訓練や全国地震等緊急時訓練へ参加。札幌市水道局と災害時に有効な協定を締結したほか、大都市水道局大規模災害対策検討会に参加しました。今年度は札幌市との合同訓練を実施予定としており、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。			

事業名	東日本大震災の教訓の継承					
事業内容	震災における経験や震災後の取り組みに関する継続的な情報発信、新規採用職員に対する研修の実施などを通して、震災の教訓を風化させることなく次世代の職員へと継承し、大規模災害の発生時や他都市への応援派遣時にも的確に行動できる危機対応力の高い職員の育成を図ります。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員などへ震災の教訓を継承します。 ・訓練などを通じて職員の危機対応力を向上させます。 ・震災の教訓を組織風土へ定着させます。 					
平成30年度実績	<p>新任者及び転任者に対し、水道局の災害対策に関する研修を行ったほか、世界防災フォーラムと同時開催の防災産業展や、国際会議（IWA世界会議・展示会）の場において、本市の震災時の対応及び震災の教訓を踏まえた取り組みを紹介しました。</p>					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	震災の教訓継承の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新任者及び転任者への研修の実施 ・国際会議（日米台水道地震対策ワークショップ）の実施、研究発表 ・新潟市及び堺市との情報交換会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任者及び転任者への研修の実施 ・新潟市、堺市及び東京都との情報交換会の実施 ・日本水道協会全国会議シンポジウムでの発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任者及び転任者への研修の実施 ・防災産業展でのパネル展示 ・他都市への講演実施 ・国際会議（日米台水道地震対策ワークショップ）での研究発表 	<ul style="list-style-type: none"> ・新任者及び転任者への研修の実施 ・日本水道協会全国会議等での研究発表 ・国際会議（IWA世界会議・展示会）での発表 ・新潟市との情報交換会の実施 	
達成見込み評価	概ね良好	震災発生から8年を迎え職員の異動や退職が進み、組織として震災の教訓の風化が懸念される所ですが、これまでも機会を捉え国内会議及び国際会議や他都市との交流の場等での教訓の発信や、各職員の意識向上の働きかけを積極的に進めていることから、目標の達成が見込まれます。				

〈中期経営目標の状況〉

概要	指標		望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	災害時給水施設の整備箇所数			↑	94箇所	180箇所以上											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">災害時給水施設の整備箇所数（箇所）</p> <table border="1"> <caption>災害時給水施設の整備箇所数（箇所）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>134</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>168</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>180</td> </tr> </tbody> </table>					年度	箇所数	H27	120	H28	134	H29	159	H30	168	R1	180
	年度	箇所数															
H27	120																
H28	134																
H29	159																
H30	168																
R1	180																
見込み評価	概ね良好	平成30年度の工事は、学校との調整等の影響で一部を令和元年度に繰越しましたが、令和元年度末の目標は達成できる見込みです。															

概要	指標		望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	主要浄水場における長期停電対策実施率 <small>（主要4浄水場における非常用自家発電装置の燃料タンク増強完了数/4）×100</small>			↑	25%	100%											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">主要浄水場における長期停電対策実施率（%）</p> <table border="1"> <caption>主要浄水場における長期停電対策実施率（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>25%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実施率	H27	25%	H28	75%	H29	100%	H30	100%	R1	100%
	年度	実施率															
H27	25%																
H28	75%																
H29	100%																
H30	100%																
R1	100%																
見込み評価	概ね良好	平成29年度に全ての工事が完了したため、目標を達成しました。															

概要	指標		望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	給水車用注水補給設備の整備箇所数			↑	3箇所	5箇所											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">給水車用注水補給設備の整備箇所数（箇所）</p> <table border="1"> <caption>給水車用注水補給設備の整備箇所数（箇所）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>箇所数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>					年度	箇所数	H27	3	H28	3	H29	3	H30	4	R1	5
	年度	箇所数															
H27	3																
H28	3																
H29	3																
H30	4																
R1	5																
見込み評価	概ね良好	水道局本庁舎への設置が完了し、順調に進捗しております。令和元年度末の目標は達成できる見込みです。															

実現方策（2）災害対応力の強化

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	地域・他都市などとの防災訓練実施回数	↑	H22～26年度合計で62回	H27～31年度合計で150回												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">地域・他都市などとの防災訓練実施回数（回）</p> <table border="1"> <caption>地域・他都市などとの防災訓練実施回数（回）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>135</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>176</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>				年度	実施回数	H27	42	H28	90	H29	135	H30	176	R1	目標
	年度	実施回数														
H27	42															
H28	90															
H29	135															
H30	176															
R1	目標															
見込み評価	極めて良好	<p>平成30年度末で、訓練の実施回数が目標値に達しました。今後も訓練を積み重ねていき、令和元年度末までに地域住民・局職員の更なる災害対応力の向上に努めていきます。</p>														

〈実現方策の取組状況〉

	<p>個別事業・中期経営目標ともに、計画通りの成果が得られています。今後も訓練等を通して職員の災害対応力の強化を図るほか、協定を締結している他都市・団体並びに市民の皆様と協力して、災害対応力の強化を進めていきます。</p>
--	---

実現方策（3）水質管理の徹底

常に安全・安心で良質な水道水をつくり、お客さまにお届けできるよう、水源保全の取り組みや高度浄水処理施設の導入拡大、独自に設定した新たな水質目標に基づく水質管理など、水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理を徹底します。

〈個別事業の状況〉

事業名	土地利用に関する諸制度の活用					
事業内容	安全で良質な水道水の基本となる水源水質の維持・向上に向けて、「杜の都の風土を守る土地利用調整条例」などの制度を活用しながら、引き続き水源を汚染・汚濁する可能性のある開発行為の抑制に取り組んでいきます。					
令和元年度末目標	水道水源を汚染・汚濁する可能性のある開発行為を抑制します。					
平成30年度実績	水源流域における開発事業計画への意見照会に対して、必要に応じて水源保全に資する意見を提出しました。また、「杜の都の風土を守る土地利用調整条例」に基づき、開発事業計画と土地利用方針との整合性を確認しましたが、問題のある開発事業計画はありませんでした。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	「杜の都の風土を守る土地利用調整条例」などを活用した水道水源の維持	・開発事業計画への意見照会33件のうち10件について付帯意見を提出 ・土地利用方針との整合性に問題のある開発事業計画0件	・開発事業計画への意見照会43件のうち4件について付帯意見を提出 ・土地利用方針との整合性に問題のある開発事業計画1件	・開発事業計画への意見照会39件のうち4件について付帯意見を提出 ・土地利用方針との整合性に問題のある開発事業計画0件	・開発事業計画への意見照会30件のうち6件について付帯意見を提出 ・土地利用方針との整合性に問題のある開発事業計画0件	
達成見込み評価	概ね良好		今後も水道水源に悪影響を及ぼす可能性のある開発事業等の計画に対しては、「杜の都の風土を守る土地利用調整条例」を所管する都市整備局等と調整しながら、開発行為の抑制に向けて働きかけていきます。			

事業名	青下ダム流域の水源涵養林の保育管理					
事業内容	水道水源の一つである青下ダムの周辺部及び上流域に水道局が所有している青下水源涵養林（約86ha）を良好な状態に保つため、広葉樹の稚樹生育の妨げとなる笹類の下刈りや蔦切り、杉林の間伐などの保育管理を適切に実施していきます。					
令和元年度末目標	適切な保育管理を継続して実施します。					
平成30年度実績	杉林の間伐（ダム上流部）0.3ha及び笹類の下刈り（ダム周辺部）11.15haを実施する予定でしたが、契約不調のため未実施となりました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	保育管理の実施	杉林の間伐（ダム周辺部）0.6ha	杉林間伐（ダム上流部）0.3ha （ダム周辺部）0.6ha	笹類の下刈り（ダム上流部）17.2ha	未実施（入札不調のため）	
達成見込み評価	概ね良好		平成30年度は未実施となりましたが、令和元年度以降も計画的に整備し、経過観察しながら保育管理を推進していきます。			

実現方策（3）水質管理の徹底

事業名	高度浄水処理施設の導入					
事業内容	七北田ダム湖において発生する海藻臭などへの対策として、福岡浄水場に粉末活性炭注入設備を設置し、既に設置の完了した茂庭浄水場・国見浄水場、設置工事中の中原浄水場と併せて、安全で良質な水道水の供給を図ります。					
令和元年度末目標	主要4浄水場への粉末活性炭注入設備の設置を完了させます。					
平成30年度実績	—					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	粉末活性炭注入設備の設置(中原浄水場)	粉末活性炭注入設備設置工事完了				
	粉末活性炭注入設備の設置(福岡浄水場)	粉末活性炭注入設備実施設計完了	粉末活性炭注入設備設置工事着手	粉末活性炭注入設備設置工事完了		
達成見込み評価	概ね良好	平成29年度に福岡浄水場の粉末活性炭注入設備が完成したことにより、主要4浄水場への粉末活性炭設備の設置が完了しました。				

実現方策（3）水質管理の徹底

事業名	水質管理の充実・強化					
事業内容	より安全で良質な水道水をお届けするため、国の水質基準を上回る本市独自の水質目標として新たに設定した、かび臭（2-MIB ^{*1} ）濃度や総トリハロメタン ^{*2} 濃度など7項目の達成を目指し、水質管理の強化に取り組みます。また、水質検査の精度と信頼性の維持・向上を図るため、水質検査機器の整備・更新を計画的に進めるとともに、水道G L P ^{*3} に基づいた精度管理・教育研修などを実施していきます。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> ・本市独自の水質目標を達成します。 ・水道G L P体制を維持します。 					
平成30年度実績	<p>水質目標を設定した7項目のうち5項目について目標を達成しました。</p> <p>誘導結合プラズマ質量分析装置^{*4}等の水質検査機器を更新しました。</p> <p>水道G L P認定更新審査を受審し、再認定されました。また、水道G L Pに基づいた精度管理、教育研修を実施しました。</p>					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	本市独自の水質目標に基づく水質管理	5項目（2-MIB、臭気強度、TOC ^{*5} 、色度、濁度）について目標達成	6項目（2-MIB、臭気強度、TOC、色度、濁度、総トリハロメタン）について目標達成	6項目（2-MIB、臭気強度、TOC、色度、濁度、総トリハロメタン）について目標達成	5項目（2-MIB、臭気強度、TOC、色度、濁度）について目標達成	
	水質検査機器の整備・更新	TOC計、固相抽出濃縮装置、クーリーベンチの更新	イオンクロマトグラフ ^{*6} 、TOC計、水銀測定装置の更新	液体クロマトグラフ質量分析装置 ^{*7} 、シアン計の更新	誘導結合プラズマ質量分析装置 ^{*4} の更新	
	水道G L P	精度管理（外部精度管理調査への参加等）、教育研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・水道G L P中間審査により、認定維持承認 ・精度管理（外部精度管理調査への参加等）、教育研修の実施 	精度管理（外部精度管理調査への参加等）、教育研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・水道G L P認定更新審査により再認定 ・精度管理（外部精度管理調査への参加等）、教育研修の実施 	
達成見込み評価	概ね良好	全7項目の水質目標達成に向けて引き続き水質管理の強化に取り組んでいきます。また、老朽化した検査機器の計画的な更新や教育研修の実施により、信頼性のある検査体制を維持していきます。				

- *1 2-MIB…2-メチルイソボルネオールの略称。かび臭の原因物質であり、藍藻類などによって生成される。
- *2 総トリハロメタン…浄水処理の過程で使用される消毒用の塩素と水中の有機物が反応して生成されるクロロホルム、ブロモジクロロメタン、ジブロモクロロメタン及びブロモホルムの4つの合計量。
- *3 水道G L P…水質検査結果の精度と信頼性を確保するための認定基準。公益社団法人日本水道協会が審査・認定・登録を行っており、仙台市は平成18年度に認定を取得した。4年毎に再認定審査を受審する必要があり、平成30年度は、3回目の再認定を受けている。
- *4 誘導結合プラズマ質量分析装置…高温のプラズマで水中の微量元素をイオン化して、金属類を高感度に分析する装置。
- *5 TOC…水中の有機物に含まれる炭素の総量。有機物濃度を推定する指標として用いられる。
- *6 イオンクロマトグラフ…イオン交換樹脂に対する吸着力の差を利用して、水中の低濃度レベルの各種イオンを高感度に分析する装置。
- *7 液体クロマトグラフ質量分析装置…カラム（固定相）との親和力の違いを利用して、水中の低濃度レベルの成分を高感度に分析する装置。

実現方策（3）水質管理の徹底

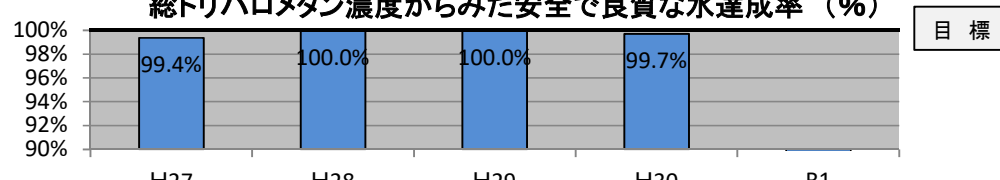
事業名	水安全計画の推進					
事業内容	水源から蛇口に至るまでの様々な危害要因に対応した「水安全管理対応マニュアル」（水安全計画）の運用や改訂を行い、今後とも安全・安心な水道水をお届けできるよう、水質管理体制を更に充実させていきます。					
令和元年度末目標	水安全管理対応マニュアルの運用・改訂の継続による水質管理体制の充実を目指します。					
平成30年度実績	PDCAサイクルに基づく検証と見直しにより、マニュアル改訂を実施しました。					
事業実績	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	項目	マニュアルの運用・改訂 ・危害項目の追加（蔵王山噴火） ・管理基準の追加（原水臭気、残留塩素濃度上限値等） ・管理基準の追加・改訂（臭気、消毒副生成物等） ・対応措置の追加（消毒副生成物等） ・管理基準の改訂（残留塩素） ・対応措置の追加（消毒副生成物） ・管理基準の追加・改訂（濁度、pH、残留塩素）				
達成見込み評価	概ね良好		平成30年度は、マニュアルの検証と見直し、マニュアルに基づく水質管理の徹底により、水道水の安全性の確保・水質管理体制の維持向上を図りました。令和元年度以降も、これらを着実に継続することで目標達成に向けて取り組んでいきます。			

〈中期経営目標の状況〉


概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標											
	主要浄水場における高度浄水処理施設導入率 <small>（主要4浄水場における粉末活性炭注入設備設置完了数/4）×100</small>	↑	50%	100%											
達成状況・見込み評価	主要浄水場における高度浄水処理施設導入率（％）														
	<table border="1"> <caption>主要浄水場における高度浄水処理施設導入率（％）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>導入率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>75%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	導入率（％）	H27	75%	H28	75%	H29	100%	H30	100%	R1
年度	導入率（％）														
H27	75%														
H28	75%														
H29	100%														
H30	100%														
R1	100%														
見込み評価	概ね良好	平成29年度は、福岡浄水場における粉末活性炭注入設備設置工事が完了しました。これにより目標達成しました。													

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標											
	かび臭からみたおいしい水達成率（2-MIB対象） <small>[1 - (2-MIB最大濃度 - 局水質目標値) / 水質基準値] × 100</small> <small>※局水質目標値は2ng/L以下。</small>	↑	100%	100%											
達成状況・見込み評価	かび臭からみたおいしい水達成率（2-MIB対象）（％）														
	<table border="1"> <caption>かび臭からみたおいしい水達成率（2-MIB対象）（％）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	達成率（％）	H27	100%	H28	100%	H29	100%	H30	100%	R1
年度	達成率（％）														
H27	100%														
H28	100%														
H29	100%														
H30	100%														
R1	100%														
見込み評価	概ね良好	平成30年度の達成率は100%でした。令和元年度以降もきめ細やかな水質管理と適切な浄水処理により、着実な異臭味対策を実施し、引き続き目標達成に向けて取り組んでいきます。													

実現方策（3）水質管理の徹底

	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
概要	総トリハロメタン濃度からみた安全で良質な水達成率 <small>（毎月検査箇所における局水質目標値達成数/年間検査総数）×100</small> <small>※局水質目標値は0.04mg/L以下。</small>	↑	100%	100%												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">総トリハロメタン濃度からみた安全で良質な水達成率（％）</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>達成率データ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>99.4%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>99.7%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>				年度	達成率 (%)	H27	99.4%	H28	100.0%	H29	100.0%	H30	99.7%	R1	目標
	年度	達成率 (%)														
H27	99.4%															
H28	100.0%															
H29	100.0%															
H30	99.7%															
R1	目標															
見込み評価	<p style="text-align: center;">概ね良好</p> <p>平成30年度の達成率は99.7%でした。年間検査総数312件の内、1件で目標値を超過しました。令和元年度以降もきめ細やかな水質管理により、目標達成に向けて取り組んでいきます。</p>															

〈実現方策の取組状況〉

	<p>個別事業5事業、中期経営目標3指標、すべてについて「概ね良好」の見込み評価となっており、概ね計画通りに進捗しています。 今後も安全・安心で良質な水道水をお客さまにお届けできるよう水源から蛇口に至るまでの総合的な水質管理の徹底に取り組んでいきます。</p>
--	---

目指すべき将来像2 エコで持続可能な水道

実現方策（1）環境に配慮した事業の推進

太陽光発電や小水力発電の導入拡大による再生可能エネルギーの活用、ポンプ場などの設備更新時における省エネルギー型機器への切り替え、浄水発生土や建設副産物の有効活用などを積極的に推進することで環境負荷の更なる低減を図り、「杜の都」に相応しい、環境に優しい水道を実現していきます。

〈個別事業の状況〉

事業名	再生可能エネルギーの活用推進						
事業内容	主要な浄水場や水道局本庁舎などへの太陽光発電設備の設置を進めるとともに、小水力発電設備についても取水・配水施設などへの導入を推進し、環境負荷の更なる低減を図ります。						
令和元年度末目標	再生可能エネルギー発電量100万kWh/年を目指します。						
平成30年度実績	平成30年度の茂庭浄水場太陽光発電電力は、水素社会構築技術開発事業実証実験へ提供したため、発電量を0としております。（発電量計測不可） 上追沢沈砂池小水力発電設備は、故障停止により発電量が低下しております。 本庁舎は設備の稼働2年目となり想定量を発電しています。表示器のペント活用も好評です。						
事業実績	年度		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	太陽光発電	国見浄水場	3.0万kWh	6.0万kWh	5.8万kWh	5.9万kWh	
		中原浄水場	0.1万kWh	1.2万kWh	1.1万kWh	1.2万kWh	
		福岡浄水場	工事着手	0.6万kWh	1.1万kWh	1.1万kWh	
		茂庭浄水場	2.4万kWh	2.3万kWh	0.7万kWh	0.0万kWh	
		安養寺配水所	0.7万kWh	0.6万kWh	0.6万kWh	0.6万kWh	
		水道局本庁舎	詳細設計実施	工事着手	1.0万kWh	1.0万kWh	
		小水力発電	安養寺配水所	7.3万kWh	6.7万kWh	6.9万kWh	6.6万kWh
		上追沢沈砂池(官民連携)	48.8万kWh	109.0万kWh	92.8万kWh	91.1万kWh	
		再生可能エネルギー発電量(合計) <small>※端数処理のため内訳と合計が一致しない場合があります。</small>	62.2万kWh	126.3万kWh	109.0万kWh	106.5万kWh	
達成見込み評価	極めて良好		茂庭浄水場太陽光発電電力の水素社会構築技術開発事業実証実験への提供や上追沢沈砂池小水力発電設備の故障停止に伴う発電量の低下がありました。が、平成30年度末時点で令和元年度末目標の100万kWh/年を上回っており、今後も同等以上の発電量が継続する見込みです。				

実現方策（１）環境に配慮した事業の推進

事業名	省エネルギー型機器への切替推進					
事業内容	ポンプ場、浄水場及び水道局本庁舎の設備更新に合わせ、LED照明や高効率の変圧器・モーター・ポンプなど省エネルギー型機器への切り替えを進め、電力消費量の一層の削減を図ります。					
令和元年度末目標	年間電力消費量を平成26年度比で60万kWh削減します。					
平成30年度実績	福岡浄水場の高効率変圧器及びLED照明が本格稼働しました、国見庁舎のLED照明が本格稼働しました。本庁舎は、経年した空調エアコンを更新し、水銀外灯、駐車場照明をLED式照明に改修しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	ポンプ場、浄水場等において当該年度に本格稼働を開始した省エネルギー型機器等の導入実績	①高効率マルチエアコン ②LED照明 ③高効率変圧器 ④高効率モータ ⑤高効率ポンプ ・ 中原浄水場（①②を導入） ・ 館送水ポンプ場（③④⑤を導入）	①高効率変圧器 ②高効率モータ ③高効率ポンプ ④インバータ化 ・ 南中山配水所（①②③を導入） ・ 福岡取水場（①②④を導入）	①市販次亜塩注入設備 ②LED照明 ③高効率変圧器 ・ 福岡浄水場（①②③を導入） ・ 卸町庁舎（②を導入）	①LED照明 ②高効率変圧器 ・ 福岡浄水場（①②を導入） ・ 国見庁舎（①を導入）	
	水道局本庁舎	・ 照明LED化	・ エレベータ更新完了 ・ 地下動力盤インバータ化完了	・ 排水ポンプ更新 ・ 照明LED化	・ 照明LED化（外灯・避難誘導灯） ・ 個別空調エアコン更新	
	年間消費電力削減効果（H26年度比）	18.8万kWh	38.9万kWh	7.0万kWh	12.2万kWh	
		（累積削減効果） 18.8万kWh	（累積削減効果） 57.7万kWh	（累積削減効果） 64.7万kWh	（累積削減効果） 76.9万kWh	
達成見込み評価	極めて良好		省エネルギー型機器等の導入に係る工事はほぼ計画通りに進展しており、平成30年度末時点で令和元年度末目標の60万kWh/年を上回っております。今後の進捗により、更なる削減ができる見込みです。			

事業名	庁舎改修における低炭素化の推進					
事業内容	老朽化に伴い実施する水道局本庁舎の改修において、「仙台市市有建築物低炭素化整備指針」などに基づく空調設備・照明設備などの更新を行い、更なる低炭素化を図ります。					
令和元年度末目標	エネルギー消費量を基準一次エネルギー消費量から10%削減します。					
平成30年度実績	地下機械室の排水ポンプをより省エネ化できる適切な能力の機器で更新しました。また、専用の空調運転が必要な電話交換設備を装置の更新に併せて他設備と集約し冷房を効率化する取り組みを進めています。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	本庁舎改修による低炭素化	・ 詳細設計実施 ・ 照明LED化	・ 照明LED化 ・ エレベータ更新完了 ・ 地下動力盤インバータ化完了	・ 照明LED化 ・ 排水ポンプ更新	・ 外灯照明LED化 ・ 個別空調エアコン更新（CO2削減センサー診断） （熱源水温調整）運用改善	
	エネルギー消費量削減率（H26年度比）	6.0%	4.4%	2.7%	3.4%	
		（前年度比） 6.0ポイント	（前年度比） -1.6ポイント	（前年度比） -1.7ポイント	（前年度比） 0.7ポイント	
達成見込み評価	概ね良好		気象条件と設備運転の工夫で昨年度より消費エネルギーを電力・ガスともに抑えることができました。一方で予定していた庁舎設備の大規模な改修については、庁舎の浸水対策に伴う改修計画の見直しにより、事業を先送りしたため、大幅な削減には至りませんでした。			

実現方策（１）環境に配慮した事業の推進

事業名	直結給水方式の普及促進					
事業内容	中高層の建築物でも受水槽を経由せずに配水管から直接給水することで、配水管内の水圧を有効に利用でき、省エネルギー効果の高い「直結給水方式」の普及を促進し、環境負荷の更なる低減を図ります。					
令和元年度末目標	継続的なPRにより直結給水方式を促進していきます。					
平成30年度実績	貯水槽水道設置者に対する助言・指導に合わせて、直結給水方式の普及促進のためのPR等を実施しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	普及促進	・マンション関係者へのPR ・ホームページを通じたPR ・貯水槽水道の適正管理を促す取組みの中でのPR	・マンション関係者へのPR ・ホームページを通じたPR ・貯水槽水道の適正管理を促す取組みの中でのPR	・マンション関係者へのPR ・ホームページを通じたPR ・貯水槽水道の適正管理を促す取組みの中でのPR	・ホームページを通じたPR ・貯水槽水道の適正管理を促す取組みの中でのPR	
達成見込み評価	概ね良好		今後も継続的にPR等を行い、直結給水方式を促進していきます。			

事業名	次世代自動車等の導入拡大					
事業内容	公用車の更新に合わせ、低燃費・低排出ガスの次世代自動車等の導入を拡大し、環境負荷の更なる低減を図ります。					
令和元年度末目標	次世代自動車等の導入台数50台以上を目指します。					
平成30年度実績	公用車の更新に合わせて次世代自動車等を1台導入しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	次世代自動車等導入	11台	7台	6台	1台	
		(累積導入台数) 32台	(累積導入台数) 39台	(累積導入台数) 45台	(累積導入台数) 46台	
達成見込み評価	概ね良好		今後も次世代自動車等の基準を満たす自動車の導入を促進していきます。			

事業名	浄水発生土の有効活用					
事業内容	浄水処理の過程で発生する浄水発生土について、セメント原料や建設改良土、園芸用土のほか、新たな活用策に関する情報も収集しながら、有効活用を進めます。					
令和元年度末目標	浄水発生土の有効利用率100%を目指します。					
平成30年度実績	茂庭、国見、中原、福岡浄水場の浄水発生土について、有効活用の推進に努めました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	有効活用の推進	茂庭、国見、中原、福岡浄水場における発生土の有効活用	茂庭、国見、中原、福岡浄水場における発生土の有効活用	茂庭、国見、中原、福岡浄水場における発生土の有効活用	茂庭、国見、中原、福岡浄水場における発生土の有効活用	
		(有効利用率) 100%	(有効利用率) 100%	(有効利用率) 100%	(有効利用率) 100%	
達成見込み評価	概ね良好		平成27年度から、国見浄水場や中原浄水場の発生土の放射性物質濃度が低下し、全量有効利用が可能となったことから、有効利用率は100%となりました。			

実現方策（1）環境に配慮した事業の推進

事業名	建設副産物のリサイクル						
事業内容	水道工事で発生する建設発生土や、アスファルト塊・コンクリート塊などの建設副産物について、可能な限りリサイクルを推進し、資源の有効活用を図ります。						
令和元年度末目標	アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊、建設発生木材の再資源化率をそれぞれ100%、100%、95%にします。建設発生土の有効利用率を95%にします。						
平成30年度実績	建設副産物のリサイクルについて、再資源化率はアスファルト・コンクリート塊100.0%、コンクリート塊100.0%、建設発生木材100.0%、有効利用率は建設発生土95.2%となりました。						
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	リサイクル推進	適正な設計積算の励行、工事現場の施工管理の徹底					
	再資源化率	アスファルト・コンクリート塊	100.0%	100.00%	100.00%	100%	
		コンクリート塊	97.5%	99.90%	100.00%	100%	
		建設発生木材	93.7%	99.80%	100.00%	100%	
	有効利用率	建設発生土	91.1%	92.10%	98.90%	95.20%	
達成見込み評価		概ね良好					
達成見込み評価	建設発生土については前年実績を下回ったものの、全ての項目において目標を達成しました。工事現場での施工管理を徹底することにより、令和元年度末まで継続して目標は達成できる見込みです。						

〈中期経営目標の状況〉

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標											
	再生可能エネルギー発電量	↑	4万 kWh/年	100万 kWh/年											
達成状況・見込み評価	再生可能エネルギー発電量（万kWh/年）														
	<table border="1"> <caption>再生可能エネルギー発電量（万kWh/年）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>発電量（万kWh/年）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>109</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>107</td> </tr> <tr> <td>R1 (目標)</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				年度	発電量（万kWh/年）	H27	62	H28	126	H29	109	H30	107	R1 (目標)
年度	発電量（万kWh/年）														
H27	62														
H28	126														
H29	109														
H30	107														
R1 (目標)	100														
見込み評価	極めて良好														
	平成27年度中盤より稼働開始した上追沢沈砂池小水力発電設備（官民連携事業）の通年稼働により、平成28年度末時点で令和元年度末目標値を達成しています。今後も同等の発電量が継続する見込みです。														

実現方策（1）環境に配慮した事業の推進

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	配水量1m ³ 当たり電力消費量 【水道事業ガイドラインB301】 電力使用量の合計/年間配水量	↓	0.143 kWh/m ³	0.150 kWh/m ³ 未滿												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">配水量1m³当たり電力消費量 (kWh/m³)</p> <table border="1"> <caption>配水量1m³当たり電力消費量 (kWh/m³)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>消費量 (kWh/m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>0.141</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>0.140</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>0.138</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>0.136</td> </tr> <tr> <td>R1 (目標)</td> <td>0.150</td> </tr> </tbody> </table>				年度	消費量 (kWh/m ³)	H27	0.141	H28	0.140	H29	0.138	H30	0.136	R1 (目標)	0.150
	年度	消費量 (kWh/m ³)														
H27	0.141															
H28	0.140															
H29	0.138															
H30	0.136															
R1 (目標)	0.150															
見込み評価	極めて良好	平成30年度は前年度に比べて総配水量が若干の増加にもかかわらず電力消費量が減少したことから配水量1m ³ 当たりの電力消費量も減少しました。今後も設備更新にあわせた計画的な省エネ化などを推進することにより、目標値以下の水準を維持できる見通しです。														
概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	次世代自動車等の導入台数	↑	22台	50台以上												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">次世代自動車等の導入台数 (台)</p> <table border="1"> <caption>次世代自動車等の導入台数 (台)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>導入台数 (台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>R1 (目標)</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>				年度	導入台数 (台)	H27	32	H28	39	H29	45	H30	46	R1 (目標)	50
	年度	導入台数 (台)														
H27	32															
H28	39															
H29	45															
H30	46															
R1 (目標)	50															
見込み評価	概ね良好	令和元年度で目標台数を上回ることは厳しい見通しですが、次世代自動車等の基準を満たす小型貨物自動車(AT・4WD)の開発が進んだことで、目標に近い台数を導入しました。														
概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	浄水発生土の有効利用率 【水道事業ガイドラインB305】 (有効利用土量/浄水発生土量) × 100	↑	87.4%	100%												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">浄水発生土の有効利用率 (%)</p> <table border="1"> <caption>浄水発生土の有効利用率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>有効利用率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>R1 (目標)</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>				年度	有効利用率 (%)	H27	100.0%	H28	100.0%	H29	100.0%	H30	100.0%	R1 (目標)	100.0%
	年度	有効利用率 (%)														
H27	100.0%															
H28	100.0%															
H29	100.0%															
H30	100.0%															
R1 (目標)	100.0%															
見込み評価	概ね良好	平成27年度からは、国見浄水場や中原浄水場の発生土の放射性物質濃度が低下し、全量有効利用が可能となったことから、有効利用率は100%となりました。今後も高い有効利用率を継続できる見込みです。														

〈実現方策の取組状況〉

個別事業については、7つの事業全てにおいて概ね順調に進捗しています。また、中期経営目標についても、4つの指標全てで令和元年度目標を達成できる見込みです。これらのことから、環境に優しい水道の実現に向け着実に成果を挙げていると言えます。今後も環境に配慮した事業の推進に取り組んでいきます。

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

水道事業はお客さまからの水道料金収入で成り立っていることを踏まえ、お客さまサービスの拡充や分かりやすい広報の実施、お客さまニーズを的確に把握するための広聴の実施など、お客さまの満足度を高めていくための事業を推進していきます。

〈個別事業の状況〉

事業名	水道料金に関するサービスの拡充					
事業内容	お客さまサービスの充実を図るため、これまで窓口のみの受付となっていた水道料金の非課税世帯減免申請における郵送受付の開始や、クレジットカードによる水道料金のお支払い、水道使用開始・廃止月における基本料金の日割計算の導入に向けた取り組みを進めます。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯減免申請の郵送受付を開始します。 ・また、税との情報連携を開始し、更新申請時の非課税証明書を添付不要とします。 ・クレジットカード決済及び基本料金日割計算を導入します。 					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・非課税世帯減免申請の郵送受付を引き続き実施し、窓口の混雑緩和に繋がりました。 ・クレジット決済と日割計算については、計画どおり平成29年10月1日より運用を行っています。 					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	非課税世帯減免申請	郵送による申請率：58.6% 郵送申請件数：7,486件	郵送による申請率：59.6% 郵送申請件数：8,266件	郵送による申請率：62.2% 郵送申請件数：8,905件	郵送による申請率：65.3% 郵送申請件数：9,676件	
	クレジットカード決済・日割計算	基本設計案の作成	基本設計、詳細設計、プログラム開発	10月1日より運用開始	運用継続	
達成見込み評価	概ね良好	<p>郵送による非課税減免申請の受付を開始したことで、お客さまが窓口に来る必要がなくなり申請手続きができるようになりました。また、発送14,815件のうち65.3%のお客さまに郵送申請をご利用いただいたことで、窓口での申請が減少し、混雑の緩和に繋がりました。今後は、非課税証明書の添付を不要にするなどのサービス充実を図っていきます。クレジットカード決済・基本料金日割計算については、計画どおり平成29年10月より運用を開始しました。</p>				

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

事業名	窓口・電話対応に関するサービスの充実					
事業内容	平成26年度に開設した「水道修繕受付センター」と同時期に創設した「地元密着型水道修繕登録店制度」について、お客さまへの周知に努めるとともに、導入後の検証を行い、更なるサービスの充実を目指します。また、水道局コールセンターのシステムと業務電算システムとを統合することにより、お客さま対応の迅速化を図ります。					
令和元年度末目標	<ul style="list-style-type: none"> 水道修繕受付センター、地元密着型水道修繕登録店制度の充実を目指します。 お客さま対応の更なる充実を目指します。 					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 修繕受付センターでは、定例報告等において業務の検証を行いました。 地元密着型水道修繕登録店制度では、定例会で登録店の修繕状況について報告し、対応等について検証・意見交換をするとともに、指定事業者研修会で次年度登録への勧誘を実施しました。また、お客さまが登録店を選択しやすくなるよう、公開登録店情報の改訂を行い、さらに登録店制度の更なる資質向上を図るために登録店取扱要綱を改正しました。 お客さま対応の迅速化を図るためのシステム統合については平成28年12月までにシステム改修を完了させ、計画どおり平成29年1月より運用を行っております。 					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	水道修繕受付センター	委託範囲の拡大を実施	定例報告等における業務の検証	定例報告等における業務の検証	定例報告等における業務の検証	
	地元密着型水道修繕登録店制度	<ul style="list-style-type: none"> 定例会における対応事例等の検証 指定事業者研修会での登録促進により、3事業者が新規登録 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会における対応事例等の検証 指定事業者研修会での登録促進により、4事業者が新規登録 公開登録店情報の改訂 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会における対応事例等の検証 指定事業者研修会での登録促進により、9事業者が新規登録 公開登録店情報の改訂 	<ul style="list-style-type: none"> 定例会における対応事例等の検証 指定事業者研修会での登録促進により、5事業者が新規登録 公開登録店情報の改訂 	
	お客さま対応の迅速化	コールセンターシステムと業務電算システムとの統合のためのシステム設計	平成29年1月より統合システムを稼動	運用継続	運用継続	
達成見込み評価	概ね良好	<p>お客さまサービスの向上を図るため、引き続き業務執行状況の検証・意見交換を行い、修繕受付センターおよび地元密着型水道修繕登録店制度を充実させていきます。お客さま対応の迅速化を図るためのシステム統合については平成28年12月までにシステム改修を完了させ、計画どおり平成29年1月より運用を開始しました。</p>				

実現方策（２）お客さま本位の事業の推進

事業名	水道事業に関する情報提供の充実					
事業内容	お客さまの関心が高い水質や災害対策に関する情報、水道事業の経営情報、水道料金に関する情報などを、ホームページやポトルドウォーターなどの様々な広報媒体を通じて、分かりやすく効果的に提供していきます。					
令和元年度末目標	更に分かりやすく効果的な情報提供を実施します。					
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙「仙台の水道H20」の全戸配布（年3回）や、災害時においてもお客さまに迅速に情報提供ができるよう、災害時広報マニュアルを更新しました。 ・ ポトルドウォーターは水道記念館来館者への配布や市内販売店8ヵ所での販売を継続するとともに、4月に開催された羽生結弦選手の五輪優勝パレード記者会見時に提供し、また、7月に開催した水道フェアでPRを行いました。 					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	さまざまな広報媒体を通じた情報提供	広報紙の全戸配布（年3回）等	広報紙の全戸配布（年3回）等	広報紙の全戸配布（年3回）等	広報紙の全戸配布（年3回）等	
	発信力強化に向けたホームページのリニューアル	内容の拡充、構成の見直し	内容の拡充、災害時広報マニュアルの作成	リニューアル、災害時広報マニュアルの更新	災害時広報マニュアルの更新	
	子ども向けや一般向けのパンフレットの配布によるPR	継続したパンフレット配布によるPR	継続したパンフレット配布によるPR	継続したパンフレット配布によるPR	継続したパンフレット配布によるPR	
	ポトルドウォーターを活用したPR	ポトルドウォーターの販売開始	ポトルドウォーターの販売・配布によるPRの継続	ポトルドウォーターの販売・配布によるPRの継続	ポトルドウォーターの販売・配布によるPRの継続	
達成見込み評価	概ね良好	H20やホームページを通して水道事業に関する基本的な情報や災害対策等に関する情報提供を行いました。水道水の美味しさ等をPRするため、イベント等でポトルドウォーターを配布しました。今後もお客さまが分かりやすく情報を得られるよう、効果的な情報提供を実施していきます。				

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

事業名	水道記念館・青下水源地の魅力向上と活用促進					
事業内容	水道記念館の展示内容の改善や青下水源地の整備を進め、水道の歴史やしぐみ、水の大きさなどを楽しみながら学び、リフレッシュできる場にしていきます。また、観光振興・地域活性化の観点から周辺施設や地域との連携を図るとともに、効果的な魅力発信を進め、多くの方々に活用され、親しまれるエリアづくりを推進していきます。					
令和元年度末目標	年間来館者数10,000人以上を目指します。					
平成30年度実績	年間来館者数は12,809人となりました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	記念館展示内容の改善	歴史展示の改善	水道のしぐみ展示の改善	周辺施設との連携によるパンフレット配架の充実	周辺施設との連携によるパンフレット配架の充実	
	集客向上のための企画の検討・実施	・夏季水鉄砲広場等の設置 ・青下第一ダムカード配布	・夏季水鉄砲広場等の設置 ・青下第一ダムカード配布	・夏季水鉄砲広場等の設置 ・青下第一ダムカード配布	・夏季水鉄砲広場等の設置 ・青下第一ダムカード配布	
	周辺施設等との連携・マスクミ等の活用による情報発信	・保育所園児の花植え(2回) ・市フェイスブック活用	・保育所園児の花植え(2回) ・市フェイスブック活用	・保育所園児の花植え(2回) ・市フェイスブック活用	・新聞、テレビ等の取材対応 ・市フェイスブック活用	
	年間来館者数	14,246人	13,331人	12,539人	12,809人	
	達成見込み評価	概ね良好	平成30年度も目標を上回る来館者数となりました。今後も継続して多くの方にご来館いただけるよう、企画の実施や地域との連携、情報発信等に取り組んでいきます。			

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

事業名	体験・交流型広報の充実					
事業内容	水道事業に対するお客さまの理解を深め、信頼を確かなものとするため、水道フェアや各種ツアーなどのイベント、浄水場における見学者受け入れ、職員が直接出向いて授業を行う「出前水道教室」などの取り組みを充実させていきます。					
令和元年度末目標	各種イベント参加者の満足度90%以上を目指します。					
平成30年度実績	各種イベント参加者の満足度は、水道フェアは85%、水道探検親子ツアー（平成30年度新規事業）100%、大人の水道見学ツアーは93%、秋休み親子ツアーは100%となりました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	各種イベント	・水道フェア1回実施 ・各種ツアー全2回実施	・水道フェア1回実施 ・各種ツアー全2回実施	・水道フェア1回実施 ・各種ツアー全2回実施	・水道フェア1回実施 ・各種ツアー全3回実施	
	浄水場見学・出前水道教室	・浄水場見学者数：8,052人 ・出前水道教室実施校数：6校	・浄水場見学者数：8,461人 ・出前水道教室実施校数：6校	・浄水場見学者数：9,055人 ・出前水道教室実施校数：8校	・浄水場見学者数：8,282人 ・出前水道教室実施校数：6校	
	各種イベント参加者の満足度	84%	83%	88%	86%	
達成見込み評価	概ね良好	アンケート結果を踏まえ、新たな体験企画の充実を図っていきます。				

事業名	お客さまの声の施策への反映					
事業内容	水道モニターの方々や、各種アンケート・水道局コールセンターなどを通じて寄せられた、水道事業に対するお客さまのご意見を集約・分析し、施策に反映していきます。					
令和元年度末目標	お客さまのご意見を的確に把握し、施策へ反映していきます。					
平成30年度実績	お客さまのニーズを把握するため、水道モニター会議を年4回実施し、水道事業に対するご理解を深めていただくとともに、事業に対するご意見をいただきました。また、広報紙によるアンケートを実施（年1回）したほか、ホームページ、窓口、電話などさまざまな経路からお客さまのご意見を把握しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	水道モニター会議	年4回実施	年4回実施	年4回実施	年4回実施	
	ご意見の集約・分析・施策への反映	・広報紙アンケートの実施（1,498件） ・非課税世帯減免申請の郵送受付開始等、3件の改善	・広報紙アンケートの実施（1,099件） ・指定給水装置工事事業者名簿の充実等、4件の改善	・広報紙アンケートの実施（561件） ・クレジットカード払いの導入等、5件の改善	・広報紙アンケートの実施（778件） ・非課税減免更新申請時の非課税証明書添付省略に向け税情報調査同意書を取得、1件の改善	
	達成見込み評価	概ね良好	今後も引き続き、水道モニター会議や広報紙アンケート等からお客さまのご意見を的確に把握し、施策へ反映していきます。			

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

事業名	お客さまとの協働による事業運営の推進					
事業内容	お客さまとともに水源保全活動や応急給水訓練などに取り組むことにより、お客さまに水道事業への信頼や親近感を高めていただくとともに、より効果的な事業運営に繋げていきます。					
令和元年度末目標	お客さまとの協働活動の更なる充実を目指します。					
平成30年度実績	お客さまや水道関連団体と協働で水源地清掃を行ったほか、町内会が実施する防災訓練へ参加したり、局内各課において災害時給水栓の地域説明会を実施しました。また、水道モニターの方々に、水道フェアへご参加いただきました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	水源保全活動	釜房ダムをはじめ各水源地における清掃活動を実施	釜房ダムをはじめ各水源地における清掃活動を実施	青下水源地における清掃活動を実施（釜房ダム清掃は雨天中止）	釜房ダムをはじめ各水源地における清掃活動を実施	
	防災訓練	・町内会が実施する防災訓練への参加（12回） ・災害時給水栓の操作説明会の開催（27回）	・町内会が実施する防災訓練への参加（16回） ・災害時給水栓の操作説明会の開催（29回）	・町内会が実施する防災訓練への参加（9回） ・災害時給水栓の操作説明会の開催（28回）	・町内会が実施する防災訓練への参加（11回） ・災害時給水栓の操作説明会の開催（22回）	
	イベント等	水道モニターの方々の各イベントへの参加	水道モニターの方々の各イベントへの参加	水道モニターの方々の各イベントへの参加	水道モニターの方々の各イベントへの参加	
達成見込み評価	概ね良好	清掃活動や防災訓練、イベント等により、お客さまの水道事業に対する信頼・親近感を醸成することができました。今後もお客さまとの協働活動の充実を図っていきます。				

〈中期経営目標の状況〉

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	コールセンター応答率 <small>（オペレーターが電話を取り対応した数/コールセンターへの入電数）×100</small>	↑	85%	85%以上												
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">コールセンター応答率（％）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <caption>コールセンター応答率（％）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>応答率（％）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>89%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>				年度	応答率（％）	H27	88%	H28	89%	H29	86%	H30	85%	R1	目標
	年度	応答率（％）														
H27	88%															
H28	89%															
H29	86%															
H30	85%															
R1	目標															
見込み評価	概ね良好	過去の着電実績に基づいて予測数を割り出し人員配置を行ったものの、3月の転居ピーク受付要員の中途退社による人員不足のため、応答率は85%となりました。目標は達成できたものの、コールセンターの効率的な運営に努め、継続して目標を達成できるよう取り組んでいきます。														

実現方策（2）お客さま本位の事業の推進

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	水道記念館の年間来館者数		↑	11,916人	10,000人以上											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">水道記念館の年間来館者数（人）</p> <table border="1"> <caption>水道記念館の年間来館者数（人）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>来館者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>14,246</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>13,331</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12,539</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>12,809</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>				年度	来館者数（人）	H27	14,246	H28	13,331	H29	12,539	H30	12,809	R1	目標
	年度	来館者数（人）														
H27	14,246															
H28	13,331															
H29	12,539															
H30	12,809															
R1	目標															
見込み評価	概ね良好	令和元年度目標を上回る来館者数となりました。継続して目標来館者数を達成できるよう、展示内容の改善等に取り組んでいきます。														

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標												
	各種イベント参加者の満足度 <small>（各種イベント等のアンケートで「満足」と回答した方の数/アンケート回答数）×100</small>		↑	80%	90%以上											
達成状況・見込み評価	<p style="text-align: center;">各種イベント参加者の満足度（%）</p> <table border="1"> <caption>各種イベント参加者の満足度（%）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>満足度（%）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>84%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>83%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>目標</td> </tr> </tbody> </table>				年度	満足度（%）	H27	84%	H28	83%	H29	88%	H30	86%	R1	目標
	年度	満足度（%）														
H27	84%															
H28	83%															
H29	88%															
H30	86%															
R1	目標															
見込み評価	概ね良好	アンケート結果を踏まえ、新たな体験企画の充実を図っていきます。														

〈実現方策の取組状況〉

	<p>平成30年度における各個別事業の達成見込み評価はいずれも「概ね良好」となっており、令和元年度末目標に向けて着実に事業が進展しています。</p> <p>中期経営目標についても全ての指標で「概ね良好」という結果となっており、令和元年度までに目標は達成できる見込みとなっております。</p> <p>今後もお客さま本位の事業の推進に向け、各事業に取り組んでいきます。</p>
--	--

実現方策（3）経営マネジメントの推進

将来的に水需要が減少していく厳しい経営環境においても、健全で安定的な経営を持続できるよう、アセットマネジメントの取り組みや更なる経営効率化、人材育成や技術継承、他水道事業者との連携などを推進し、限られた経営資源（ヒト、モノ、カネ）の適切なマネジメントを行ってまいります。

〈個別事業の状況〉

事業名	アセットマネジメントの取り組みの強化						
事業内容	水道施設の適正な維持管理や計画的な更新・耐震化・統廃合といった従来からのアセットマネジメントの取り組みを更に強化し、より長期的な視点から事業費の平準化やライフサイクルコストの極小化を図るため、情報管理システムの充実強化や長期的な更新計画の策定などを着実に実施していきます。						
令和元年度末目標	新たに構築する情報管理システムなどを活用してアセットマネジメントを強化します。						
平成30年度実績	施設・設備に係るシステム構築に向けて、工事設備台帳データベースの整備を行うとともにシステム構成の検討を行いました。また、既設管路の管体調査により管路情報の精度向上を図るとともに、定量的評価による更新対象路線の選定手法についても検討を行いました。						
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	施設情報の蓄積	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備情報の整備方針等を検討 管路情報の精度向上・充実のための手法等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備情報の管理項目の決定 管路情報の精度向上・充実のための具体的な手法の検討及び決定 	<ul style="list-style-type: none"> 給水分岐工事における既設配水管調査 基幹管路の計画的管体調査 定量的更新路線抽出手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 給水分岐工事における既設配水管状況調査の分析 基幹管路の計画的管体調査結果の分析 定量的評価を用いた更新路線選定 		
	施設・設備に係る情報管理システム構築	<ul style="list-style-type: none"> 施設・設備に係る情報管理システムの全体像や機能仕様等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> システム構築の優先順位や作業スケジュールの決定 施設・設備に係る台帳データベースシステム構築 	<ul style="list-style-type: none"> システム構築に向けた工事設備台帳データベース入力作業の実施 施設設備マイクロマネジメントの方向性の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 工事設備台帳データベースの整備 システム構成の検討 施設設備系マイクロマネジメントの方向性の検討 		
	水道施設に係る長期的な更新計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設に係る中長期的な課題等についての調査に着手 管路施設マイクロマネジメントの方向性等を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 既存施設に係る中長期的な課題等についての調査の実施 施設整備計画策定に向けた素案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 長期水需要推計を基とした将来を見据えた水運用計画・施設整備計画策定に着手 配水支管網再構築計画・管路更新計画策定に向けた検討 	<ul style="list-style-type: none"> 水運用計画・施設整備計画策定業務の実施及び成果のとりまとめ 配水支管網再構築計画・管路更新計画検討に向けた検討 		
達成見込み評価	概ね良好	平成30年度は計画通り概ね順調に進捗しました。今後もアセットマネジメント強化のための各種方策に取り組んでいきます。					

実現方策（3）経営マネジメントの推進

事業名	水道施設の将来構想の推進					
事業内容	国見浄水場が今後10年程で更新時期を迎えることから、将来的な水需要の減少を見据えつつ、主要4浄水場を始めとする主要施設の再構築（規模の適正化や効率的な再配置など）に関する検討を行い、施設運営のあり方とともに、水道施設の将来構想を具体化していきます。					
令和元年度末目標	主要施設の再構築計画を策定します。					
平成30年度実績	前年度から継続して基幹水道施設に関する再構築計画の検討を行い、概ね30年間の施設整備計画の原案を作成しました。また、お客様に水を配る配水管網のダウンサイジングを進めるための再構築検討を開始しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	主要施設の再構築計画の策定	主要4浄水場の将来像を見据えた国見浄水場整備方針に係る基礎調査				
		長期水需要推計調査				
		基幹水道施設に関する再構築計画検討			配水管網ダウンサイジング検討（～令和元年度）	
達成見込み評価	概ね良好	計画通り概ね順調に進捗しており、今後は次期水道事業基本計画への反映作業とともに、主要施設の再構築計画の基礎となる構想のとりまとめを行います。				

事業名	水道施設の維持管理の効率化					
事業内容	配水所など施設の統廃合や延命化、省エネルギー型機器への切り替え、再生可能エネルギーの有効活用などに積極的に取り組むことにより、水道施設における維持管理の効率化や維持管理コストの縮減を推進していきます。					
令和元年度末目標	省エネルギー型機器への切替推進などにより更なる効率化・コスト縮減を実現します。					
平成30年度実績	本庁舎の経年した空調エアコンを更新したほか、本庁舎敷地内の外灯などをLED式照明に改修しました。					
事業実績	年度項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	維持管理の効率化・コスト縮減	・南中山配水所受変電設備及び送水ポンプ設備更新 ・上追沢沈砂池小水力発電設備稼働開始	・八木山第二配水所の撤去 ・福岡浄水場次亜塩注入設備更新工事完了、太陽光発電設備稼働開始	・平沢送水ポンプ場とみやぎ台配水所の休止 ・福岡浄水場受変電設備更新工事完了、水道局本庁舎の太陽光発電設備稼働開始	・個別空調エアコン更新 ・照明LED化（外灯・避難誘導灯）	
達成見込み評価	概ね良好	水道施設の維持管理の効率化に向け、計画通り各事業に取り組んでおります。今後も省エネルギー型機器導入等による更なる効率化に取り組んでいきます。				

実現方策（3）経営マネジメントの推進

事業名	資産の有効活用・処分					
事業内容	有効活用が見込める未利用地の有償貸付や、売却可能な未利用地の一般競争入札等による処分など、資産の有効活用・処分を進めることにより財政基盤の強化を図ります。					
令和元年度末目標	資産の有効活用・処分の推進をします。					
平成30年度実績	16箇所の貸付を行い、また、水道局ホームページに「貸付地」などの物件情報を掲載し広く公募を行うなど、未利用地の活用のため積極的に広報を行いました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	未利用地の有償貸付・売却の推進	貸付箇所:15箇所 貸付金額: 15,209千円 売却件数:1件 売却金額: 15,754千円	貸付箇所:16箇所 貸付金額: 15,632千円	貸付箇所:16箇所 貸付金額: 15,337千円	貸付箇所:16箇所 貸付金額: 16,798千円	
達成見込み評価	概ね良好		今後も引き続き、未利用地の有効活用や処分を推進していきます。			

事業名	人材育成・技術継承の推進					
事業内容	次世代を担う人材の育成と、これまでに培ってきた水道技術力の維持・継承を図り、水道事業の持続性を確保していくため、「仙台市水道マンパワー向上プラン」に基づく職員研修の充実・強化などの取り組みを進めていきます。					
令和元年度末目標	職員研修を更に充実・強化します。					
平成30年度実績	「仙台市水道マンパワー向上プラン」に基づき、年間事業計画を策定し進捗管理を行い、研修の計画的な実施と内容の充実に取り組みました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	「仙台市水道マンパワー向上プラン」に基づく取り組み	・職員研修（局内全体、各職場内、体験型等）の計画的かつ効果的な開催 ・資格取得に関する助成制度の内容拡充	・職員研修（局内全体、各職場内、体験型等）の計画的かつ効果的な開催 ・災害対応（熊本地震対応、他都市の災害活動講演）関係研修の実施	・職員研修（局内全体、各職場内、体験型等）の計画的かつ効果的な開催 ・災害対応（災害時応援枠組み、東京都水道局・堺市上下水道局との合同防災訓練）関係研修の実施	・職員研修（局内全体、各職場内、体験型等）の計画的かつ効果的な開催 ・組織横断的な意見交換・事例検討の実施 ・全国地震等緊急時訓練による他圏域との連携確認	
達成見込み評価	概ね良好		年間事業計画に基づき行っている各種研修は、概ね計画通り実施することができております。今後も「仙台市水道マンパワー向上プラン」に基づく取り組みを行っていきます。			

実現方策（3）経営マネジメントの推進

事業名	近隣水道事業者との連携強化					
事業内容	近隣水道事業者が抱える共通の経営課題の解決に向け、宮城県や仙南・仙塩広域水道の受水市町などとの連携を強化し、技術継承や災害対策などの分野における広域的な取り組みを推進していきます。					
令和元年度末目標	広域的な取り組みを推進します。					
平成30年度実績	近隣の水道事業者を対象とした体験型実技講習会の実施や、宮城県が主催する「仙南・仙塩広域水道協議会幹事会」での協議、仙南・仙塩広域水道の受水市町による意見交換の開催などを通じて、連携強化を図るとともに、技術継承などの分野における広域的な取り組みを推進しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	近隣水道事業者を対象とした実技講習会の開催	給配水技術研修施設を活用した体験型実技講習会の実施	給配水技術研修施設を活用した体験型実技講習会の実施	給配水技術研修施設を活用した体験型実技講習会の実施	給配水技術研修施設を活用した体験型実技講習会の実施	
	県や受水市町との連携（災害対策など）	宮城県主催の「仙南・仙塩広域水道用水供給事業危機管理等検討会」などを通じた危機管理対策の検討や、「仙塩地区水道対策協議会」における合同勉強会の開催	宮城県主催の「仙南・仙塩広域水道協議会幹事会」での協議や、「仙塩地区水道対策協議会」における合同勉強会の開催	宮城県主催の「仙南・仙塩広域水道協議会幹事会」での協議や、17受水市町との「仙南・仙塩広域水道受水団体連絡会」などにおける意見交換の開催	宮城県主催の「仙南・仙塩広域水道協議会幹事会」での協議や、17受水市町との「仙南・仙塩広域水道受水団体連絡会」などにおける意見交換の開催、近隣水道事業者と共通課題解決に向けた勉強会の開催	
達成見込み評価	概ね良好		今後も引き続き、宮城県や近隣市町との連携強化の取り組みを進めていきます。			

事業名	国際貢献の推進					
事業内容	独立行政法人国際協力機構（JICA）や他水道事業者などとの連携のもと、海外技術研修員の受け入れに取り組み、研修員のニーズや母国の水道事業を踏まえた効果的な研修を通して、参加国の水道技術向上に貢献していきます。また、震災の経験を踏まえた災害対策などの情報を、国際会議などの場で積極的に発信していくことにより、海外の水道事業における防災・減災意識の向上にも寄与していきます。					
令和元年度末目標	海外における水道技術向上や防災・減災意識向上へ貢献します。					
平成30年度実績	JICA（国際協力機構）を通じた海外技術研修員5名の受け入れを行い、浄水処理実習等の研修の提供を通じて、参加諸国の水道技術向上に取り組んだほか、台北水道職員の視察を受け入れ、災害対策や漏水防止対策について意見交換を行いました。また、短期海外派遣研修として職員1名を派遣し、フランス水道事業の官民連携の事例調査を行うなど、職員の国際感覚の涵養、グローバルな視点の獲得を目指しました。					
事業実績	年度 項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	海外からの技術研修員の受け入れ	研修員受け入れ（11名）	研修員受け入れ（15名）	研修員受け入れ（27名）	研修員受け入れ（7名）	
	国際会議、海外研修等への職員派遣	・カナダ、アフリカへの派遣研修（2名） ・日米台水道地震対策ワークショップへの参画	・インドネシア水道事業研修への派遣研修（1名）	・オーストラリア水道事業研修への派遣研修（1名） ・日米台水道地震対策ワークショップへの参画	・IWA世界会議・展示会への参加（7名） ・短期海外派遣研修（1名）	
達成見込み評価	概ね良好		計画通り着実に事業に取り組んでおります。今後も国際貢献の推進に向けた取り組みを行っていきます。			

実現方策（3）経営マネジメントの推進

〈中期経営目標の状況〉

概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標
	有収率 【水道事業ガイドラインB112】 (年間有収水量/年間配水量) × 100	↑	94.2%	94.6%
達成状況・見込み評価	有収率 (%)			
	見込み評価	概ね良好	平成30年度の有収率は94.4%と、昨年度より0.1ポイント減少しており、減少傾向が続いていることから、引き続き漏水防止対策等の取り組みにより、有収率の向上に取り組んでいきます。	
概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標
	給水収益に対する企業債残高 企業債残高/給水収益	↓	2.87倍	3倍以内
達成状況・見込み評価	給水収益に対する企業債残高 (倍)			
	見込み評価	概ね良好	平成30年度は給水収益の増加と企業債残高の減少により、給水収益に対する企業債残高は2.75倍に減少しました。将来的には、建設改良事業の増加により、企業債残高が増加する見込みですが、現行の計画期間の目標は達成できる見込みです。	
概要	指標	望ましい変化	平成26年度末実績・現状	令和元年度目標
	経常収支比率 【水道事業ガイドラインC102】 [(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)] × 100	↑	113.3%	100%以上
達成状況・見込み評価	経常収支比率 (%)			
	見込み評価	概ね良好	平成30年度の経常収支比率は117.3%と、前年度に引き続き100%以上となりました。令和元年度以降も100%以上となる見込みとなり、目標達成できる見込みです。	

〈実現方策の取組状況〉

	平成30年度における各個別事業の達成見込み評価は、いずれも「概ね良好」となっており、令和元年度末目標に向けて着実に事業が進展しています。 中期経営目標につきましてもすべての指標が「概ね良好」となっており、令和元年度末目標は達成できる見込みとなっております。 今後も経営マネジメントの推進に向け、各事業に取り組んでいきます。
--	---